

今年度は、県議会において以下の委員等をしています。

- 予算決算常任委員会・委員
- 医療保健子ども福祉病院常任委員会・委員
- 議会改革推進会議・副会長

### 森野真治事務所

〒518-0007  
 伊賀市服部町331-1  
 電話 0595(23)6060  
 FAX 0595(48)6233  
 E-mail: shinji@morino.biz



県政に対するご意見、ご要望などをお聞かせください。

バックナンバー等はホームページから  
<https://morino.plala.jp/shinji/>

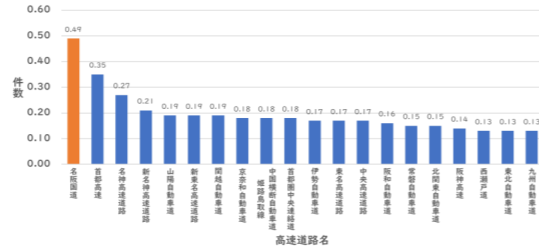


## 一般質問 7. 名阪国道の安全確保について

**Q** 名阪国道は、伊賀地域の立地企業にとって重要な物流道路であるとともに、伊賀市民にとっての生活道路でもあるが、令和3年に高速道路10km当たりの死亡事故件数で再びワースト1になるなど更なる安全確保が必要な状況である。地元からは道路舗装の修繕要望が毎年出されているが改善されていない。県からも国に強く申し入れする等、改善に向けて取り組んでほしいと思うがどうか。

**A** 名阪国道の三重県区間は中部地方整備局北勢国道事務所によって管理されており、大型車混入率が44%と一般道と比べて高いことから修繕を必要とする箇所が多く、限られた予算の中で優先順位をつけて対応しているとのこと。これまでも国への要望活動時に国管理道路における維持修繕予算の確保を要望してきたが、今後は予算確保だけでなく、さまざまな機会をとらえ、道路利用者の生の声も国に届け、利用者に行き環境の改善を実感してもらえよう、しっかり要望していく。

高速道路10km当たりの死亡事故件数(H29~R3平均)



全国の高速道路・自動車専用道路における名阪国道の10km当たりの死亡事故件数ワースト順位の推移

年度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
順位	1位	1位	1位	4位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
順位	1位	1位	2位	1位	1位	9位	1位	1位	2位	1位	5位	14位	1位

## 一般質問 8. 国道368号の改良工事について

**Q** 国道368号(名張街道)の4車線化について、今年度大内橋の増設工事が完了し、令和7年度中に上野IC以南が4車線で開通見込みとなっている。そろそろその先の名阪国道の跨線橋と上野IC北部への接続について改修方法を具体的に検討するべき時期に来ているが、現在の検討状況や進捗見込みはどうか。

**A** 国道368号の伊賀市と名張市を結ぶ区間は朝夕を中心に著しい混雑が発生しているため、これまで順次4車線化工事を進めてきた。名阪国道をまたぐ区間は、亀山方面へのランプにつながることから交通量も多く、4車線化することが重要である。現在、早期の工事着工に向けて、インターチェンジの形状や周辺道路との接続などに関する課題を整理するとともに、国土交通省とも調整しながら設計を進めている。伊賀地域の経済、観光、安全安心を確保するための重要な幹線道路であり、4車線化の早期完成をめざしていく。

# 森野真治

もりのしんじ

このレポートは、三重県議会や森野真治の活動を県民の皆様方に幅広く知っていただくため、定期的に発行しております。ぜひ、ご家族皆様でご覧ください。なお、これまでに発行したものの(バックナンバー)はホームページに掲載しております。



2023年 第2号  
 (通算第32号)  
 2023年7月発行

## 三重県議会議員 森野真治の県政レポート



### 令和5年第2回定例会(5~6月)の概要

5月9日に令和5年第2回定例会が12月21日までの227日間の会期で開会されました。今年は4月に県議会改選があったため定例会が2回となります。

5月12日に今年度の正副議長や各委員会の正副委員長など、県議会の各役職が決定しました。また、国の物価高騰対策に対応して、食費等の物価高騰に直面



2023.6.14 一般質問

し、影響を受ける低所得の子育て世帯を支援するための補正予算(一般会計約5億円)が提案され、即日可決されました。

6月1日にエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援、子ども食堂での朝食提供の促進及び関西本線の利用促進に向けた需要等調査などを行うための補正予算(一般会計約80億円)等が提案され、30日に可決されました。

### 目次、掲載ページ

- 令和5年第2回定例会(5~6月)の概要 1
- 令和5年4~6月の公務日程 1
- 一般質問(6月14日)の概要 2-4

## 令和5年4~6月の公務日程

- 4月30日 5期目の任期開始
- 5月 1日 初登庁
- 9日 全議員説明会、本会議(令和5年第2回定例会開会)
- 12日 本会議(役員選出、議案上程)、議案聴取会、医療保健子ども福祉病院分科会、予算決算常任委員会(採決)、本会議(採決)、議会改革推進会議総会
- 22日 医療保健子ども福祉病院常任委員会(所管事項説明)
- 6月 1日 本会議(議案上程)、全員協議会、議案聴取会
- 6日 本会議(代表質問、議案質疑)、議会改革推進会議役員会
- 8日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)、議会改革推進会議役員会
- 14日 本会議(一般質問(森野登壇))、議会改革推進会議総会
- 21日 医療保健子ども福祉病院常任委員会・分科会(医療保健部関係)
- 23日 医療保健子ども福祉病院常任委員会・分科会(子ども・福祉部、病院事業庁関係)
- 29日 予算決算常任委員会(採決、所管事項調査)
- 30日 本会議(採決)



↑一般質問の録画  
中継はこちら

### 一般質問 1. マイナンバー（個人番号）制度について

**Q** マイナンバー制度については、保険情報や公金受取口座、マイナポイントの誤登録などの問題が発生している。国民健康保険情報の登録事務や窓口で公金受取口座の登録やマイナポイント申請手続きを行っている市町への県の関わりや支援の状況、問題把握や解決などへの取り組み状況はどのようになっているのか。

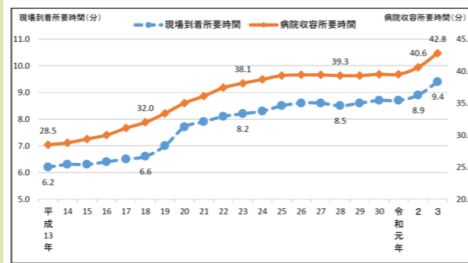
**A** 今般判明したような事案が更に重なれば、県民の制度への信頼を損ないかねないと危惧している。現在市町に聞き取り調査を実施しているが、国に対し、システムの改善など、紐付け誤りが防止できる仕組みの構築等に早急に取り組むよう要望していきたい。国や市町との連携をより一層密にし、利用者の目線に立った適切な対応に努めていきたい。

### 一般質問 2. 救急搬送体制の確保について

**Q** 総務省消防庁によると、令和4年中の救急出動件数は前年比16.7%増の722万9,838件、搬送人員は前年比13.2%増の621万6,909人となり、ともにコロナ前を超えて集計以来最多となった。救急車の現場到着所要時間はコロナ禍で出動件数が減少している中でも伸び続けており、令和3年の平均現場到着時間は9.4分、平均病院収容時間は42.8分となっている。すべての救急車が出払ってしまったり、受け入れ医療機関がなかなか決まらないなどが問題となっているが、県としてどのように取り組んでいくのか。

**A** 本県の令和3年の平均現場到着時間は9.0分、平均病院収容時間は40.6分で全国平均より短い。増加傾向にある。現場到着所要時間の短縮に向けては、消防本部間の連携・協力の推進や救急車の適正利用のための啓発に、病院収容所要時間の短縮に向けては、医療機関のより円滑な受け入れに向けて取り組んでいる。今後も関係者間の連携をより一層強化し、所要時間の短縮に取り組んでいきたい。

現場到着所要時間及び病院収容所要時間の推移

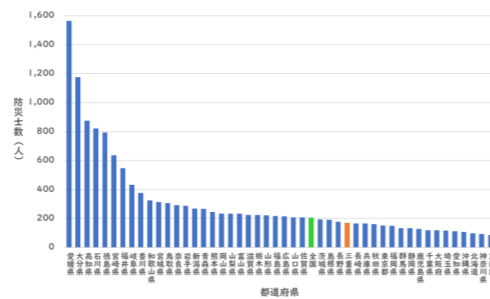


### 一般質問 3. 防災士の養成について

**Q** 近年、災害が多発していることから関心が高まり、2023年5月末現在、累計で25万8,250人、本県においても2,963人が防災士の資格を取得している。人口10万人あたりの防災士数では、多い順に愛媛県1,564人、大分県1,175人、高知県876人となっており、5位に徳島県、9位に香川県など南海トラフ地震の被災想定エリアで多くなってるが、本県は全国平均の207人を下回る170人で、全国31位にとどまっている。本県の防災士の位置づけや養成に対する取り組みはどのようになっているのか。

**A** 本県では地域の防災・減災活動をけん引する人材として「みえ防災コーディネーター」（累計1,055人）や「みえ学生防災啓発サポーター」（累計49人）を養成してきており、そのうち753人が防災士資格を取得している。今後もこれらの取り組みを着実に進める一方で、他県の防災士養成に対する取り組みや効果、課題等を研究し、本県の地域防災力の向上につながる取り組みについて検討していきたい。

都道府県別人口10万人あたり防災士数



### 一般質問 4. 三重県指定文化財等の活用について

**Q** 昨年12月に県立上野高等学校明治校舎の耐震改修工事が、3月31日には春日神社拝殿の解体修理が完成した。県には多くの有形・無形文化財や史跡、天然記念物などがあるが、これらを一度しっかりと棚卸して現状を把握するとともに、県民や観光客に楽しんでもらえるように磨き上げることこそが、県が行うべき地域振興、観光振興だと考える。県指定文化財等を観光資源として活用するためにどのように取り組むのか。

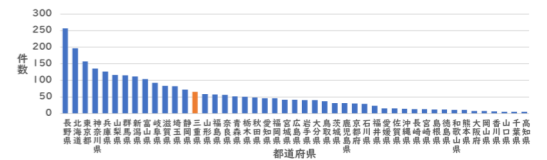
**A** 文化財は保存するだけでなく、活用され、後世へ継承されることが大切。まちづくりと観光誘客のために文化財を効果的に活用するためには、素材を集め、情報を整えることが重要であると考えている。今後、文化財を守り伝えてきた所有者や地域の思い、関係する市町の意向や方針を改めて調査し、文化財の更なる活用につなげたい。

### 一般質問 5. 登山の安全確保について

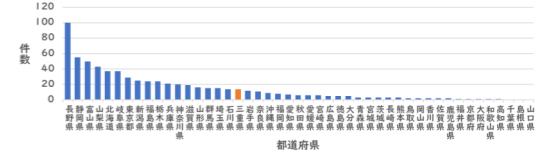
**Q** コロナ禍で減少していた登山者数も令和2年を底に令和3年以降増加傾向となり、令和4年にはコロナ禍前の水準にまで戻っている。本県の令和3年中の山岳遭難発生件数は65件で全国14位と遭難件数が多い県となっており、山岳遭難防止に向けた更なる取り組みが必要な状況。前に質問で登山アプリとの情報連携について提案し、検討すると答弁しているが、その後進んでいないと思う。取り組み状況はどうか。

**A** 登山用アプリ運営企業と協定を締結している府県警察から、連携の内容や協定締結による効果について聞き取りを行うなど調査を行い、山岳遭難の対策面では県警だけでなく県との連携も重要であることから、協定の内容等について担当部局とも協議してきた。これまでの調査等から山岳遭難の防止や迅速・的確な捜索救助活動に関し、登山用アプリとの連携の効果は高いものと認識しているため、今後、早期の協定締結に向けて取り組んでいきたい。

令和3年における山岳遭難発生件数



令和4年7-8月における山岳遭難発生件数



### 一般質問 6. 伊賀警察署の建て替えについて

**Q** 先日、伊賀警察署の現状を確認したところ、外観は塗装の剥がれなどが目立ち、内部は3階で会議室を含め複数箇所雨漏りが発生、機能的にも建物のスペース不足のため独立した保護房が無い、運転免許証の更新時の講習場所に民間施設を借りているなど、課題が多いが、建て替え等の考えはあるのか。

**A** 県内にある18警察署の内、築年数50年を超える警察署が4署あり、いずれも建て替えが必要な施設と考えている。伊賀警察署は経年上位から4番目となっているが、老朽化が著しい大台警察署と尾鷲警察署は今年度から建て替えや改修を着工予定となっている。引き続き、庁舎の経年を基本とし、老朽化の進行度や狭隘化、県民の利便性、事件・事故の発生状況等の地域情勢を考慮し、治安維持活動や災害警備活動の拠点としての立地・機能を総合的に判断した上で、建て替えの条件が整ったところから進めていく。

意見として、建て替えを検討する際には、未活用となっている旧上野商業高校グラウンド部分への新築移転であれば伊賀市消防本部と連携しやすいなどのメリットがあると提案いたしました。